



安全・安心に移動: ボッシュ、Ridecare ソリューションでカーシェアリング用車両を常に完璧な状態に 欧州、北米、アジアのカーシェアリングプロバイダーとのパイロットプロジェクト

2021年11月3日
PI 11369 BBM Fi/af

- ▶ 世界初: ボッシュの Ridecare サービスは、ひとつのセンサーボックスで車両の損傷や車室内の喫煙を検知
- ▶ AI の手法を用いてデータを評価
- ▶ 欧州で、スマートモビリティソリューションが最も大きく伸びる見込み

シュトゥットガルト(ドイツ) – カーシェアリングのユーザーは、利用する車両が道路走行に適した状態であることや、タバコの臭いがしないことを求めています。車両に傷やへこみがあったり、誰かが車室内で喫煙していたりするのは不快に感じるものです。ボッシュがフリート運用者やモビリティサービスプロバイダー向けに開発を進めている新しい Ridecare のソリューションによって、こうした悩みはもうすぐ過去のものとなります。これらのソリューションは、すべてのユーザーにとってより安全で快適な移動を実現することを目指しています。Ridecare の第一の標準機能は、喫煙と損傷の検知です。ボッシュはこれを可能にするため、車両に搭載したセンサーボックスと、AI を用いたクラウドベースのデータ分析を組み合わせました。カーシェアリングプロバイダーは、車両の損傷や車室内での喫煙状況についての重要な分かりやすい情報をリアルタイムで受け取ることができます。これにより、修理や清掃をより迅速に、より必要に応じた形で行うことができ、フリート管理の最適化を図ることができます。「カーシェアリングでは、ユーザーが常に安全で快適なドライブを楽しめるようにすることが、顧客満足度を高める大きなカギとなります。ボッシュは Ridecare ソリューションによって、カーシェアリング市場でカスタマーエクスペリエンスのさらなる向上を実現する新たな基準を打ち立てています」と、ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会メンバーであるハラルド・クローガーは述べています。グローバル規模で革新的なテクノロジーとサービスを提供するボッシュは現在、アジア、北米、ドイツの大手カーシェアリングプロバイダーと協力して、喫煙や損傷を検知するシステムの製品化に向けたパイロットプロジェクトを進めています。また、ボッシュは先ごろ、TÜV Süd からこのシステムの正式な承認を受けており、これらのフリートサービスの信頼性も確認されました。

Ridecare は透明性を確保

通常は、カーシェアリングプロバイダーがレンタル期間中の車両の損傷や車室内での喫煙の有無に関する情報を受け取ることはまずありません。ユーザーは、車両の大きな損傷のみを報告する傾向にありますが、プロバイダーにとっては軽微と思われる損傷の修理費用が負担となる傾向があります。顧客が大きな不満を抱くもう一つの原因として、以前のドライバーがこっそり喫煙していた車両を引き継ぐことが挙げられます。このような場合、プロによる車室内清掃には数百ユーロの費用がかかることもあります。Ridecare ソリューションによって、ポッシュはカーシェアリングプロバイダーに推測ではなく明確な情報を提供できるようになりました。車両に搭載されたセンサーボックスが、車室内のタバコの煙と外装の損傷を検知します。車室内のセンサーボックスでこのようなタイプの損傷を検知することは、業界初の試みです。従来のソリューションでは、煙か事故のどちらかを検知することはできても、両方を検知することはできませんでした。「ポッシュの喫煙・損傷検知システムは、車両の損傷と煙の両方を確実に検知し、間違いなく報告することができる世界初の量産ソリューションです」と、クローガーは述べています。また、このボックスのセンサーは非常に精密で、事故だけでなく、駐車中の偶発的な損傷も検知することができます。例えば、市街地に駐車してある貸し出し中ではないカーシェアリング用車両の接触事故も検知します。その結果、カーシェアリングプロバイダーは、誰が事故を起こしたのか、または誰が車室内で喫煙したのかを直接判断することができます。

ポッシュが人工知能とモノのインターネット化 (IoT) を融合

ポッシュの革新的なフリートサービスは、カーシェアリング用車両のフロントガラスの内側に常設されたセンサーボックスと、クラウド上でデータ分析を行うインテリジェントなソフトウェアで構成されています。事故や車室内の煙に関するセンサー情報がクラウドのバックエンドに送信されると、ポッシュは AI を用いて衝撃の強さを導き出し、フリート運用者向けに分類します。インテリジェントなアルゴリズムは、車両のドライビングダイナミクスに関するデータと、道路状況などの追加情報を取り込みます。これにより、カーシェアリングプロバイダーは、損傷が単なる外観上のものなのか、それとも車両の走行可能性を確保するために直ちに評価および修理する必要があるのかを正確に把握することができます。「Ridecare のサービスは、AI と IoT の融合である AIoT の可能性を新たに示すものです。これからは、シェアリングサービスのユーザーもそのメリットを享受できるようになります」と、クローガーは述べています。さらにポッシュは、AI によるデータ分析により、リアバンパーや足回りなど、車両の損傷箇所を正確に特定することができます。これにより、損傷の記録と評価が容易になります。センサーボックスから送られたデータを後で損傷の画像と組み合わせれば、フリートやモビリティサービスの運用者は、希望により修理費用の見積もりを取得することもできます。

フリート管理向けデジタルソリューション

カーシェアリングプロバイダーにとって、保有する車両の損害を迅速かつ透明性の高い方法で記録することは非常に重要です。これは、車両の走行可能性を向上させ、ダウンタイムを最小限に抑える唯一の方法だからです。Ridecare サービスは、損傷の分類だけでなく、事故が起きた場所や時間、車室内での喫煙の有無なども正確にカーシェアリングプロバイダーに伝達します。これらの情報により、フリート管理者やモビリティサービスプロバイダーは、車両を常に完璧な状態に保ち、ドライバーや乗客の満足度を高めることができます。

カーシェアリング市場は新型コロナウイルスのパンデミックで需要が落ち込んだものの、専門家はブームが到来すると予測しています。現在、欧州の自家用車に代わるモビリティサービスの市場規模は 1,270 億米ドルで、そのうちドイツ市場が 170 億米ドルを占めます。コンサルティング会社の Strategy&の予測によると、2035 年には市場規模が欧州全体で 4 倍以上の 5,490 億ドルに達する可能性があるの見込まれています。

報道用画像: 3331e39e, 1d0c3f56, 9d813453, e4eaf0c2, 0b66d09d

報道関係対応窓口:

Annett Fischer

電話: +49 711 811-6286

Twitter: @Annett__Fischer

モビリティソリューションズは、ポッシュ・グループ最大の事業セクターです。2020 年の売上高は 421 億ユーロで、グループ総売上高の 59% を占めています。モビリティソリューションズの売上により、ポッシュ・グループはリーディングサプライヤーの地位を確立しています。モビリティソリューションズ事業は、安全でサステイナブルかつ魅力的なモビリティを目指し、パーソナライズ化、自動化、電動化、ネットワーク化の領域においてグループ全域にわたる知見を結集させ、お客様にモビリティのためのトータルソリューションを提供します。その事業領域は主に、内燃機関の燃料噴射テクノロジー／パワートレイン周辺機器、パワートレイン電動化のさまざまなソリューション、車載向け安全システム、ドライバー アシスタンス システム／自動化機能、ユーザーフレンドリーなインフォテインメントや Vehicle-to-Vehicle (車車間) および Vehicle-to-Infrastructure (路車間) 通信、オートモーティブアフターマーケット向けのリペアショップコンセプト／テクノロジー／サービスなどです。さらにポッシュは、電気駆動マネジメントや横滑り防止装置 ESC (エレクトロニック スタビリティ コントロール)、ディーゼル用コモンレールシステムなどの自動車の重要な革新技術を生み出してきました。

世界のポッシュ・グループ概要

ポッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2020 年の従業員数は約 39 万 5,000 人 (2020 年 12 月 31 日現在)、売上高は 715 億ユーロ (約 8.7 兆円*) を計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの 4 事業セクター体制で運営しています。ポッシュは IoT テクノロジーのリーディングプロバイダーとして、スマートホーム、インダストリー 4.0 さらにコネクテッドモビリティに関する革新的なソリューションを提供しています。ポッシュは、サステイナブル、安全かつ魅力的なモビリティを追求しています。ポッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ポッシュ・グループは、AI (人工知能) を搭載する、もしくは AI が開発・製造に関わった製品を提供することで、コネクテッドライフを円滑にす

ることを戦略目標に掲げています。ボッシュは、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 440 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュは 2020 年第一四半期に、世界 400 超の拠点をカーボンニュートラルを達成しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 129 の拠点を約 7.3 万人の従業員が研究開発に、そのうち約 3.4 万人がソフトウェアエンジニアリングに携わっています。

*2020 年の為替平均レート、1 ユーロ=121.8458 円で計算

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/Boschjapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)